

# 時計台の鐘

第 75 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会長 木原直彦

札幌市中央区北1条西2丁目

重要文化財・時計台内

TEL 011-251-5944

## 演武場跡碑のこと

会長 木原直彦

昨年の時計台の出来事の一つとして、その五月に札幌農学校の演武場跡碑を新たな形で設置したことがあげられます。時計台を管理する札幌市観光文化局文化財課と運営する社団法人札幌市友会、そして私どもさっぽろ時計台の会の手によるものです。場所は中央区北一西二の市道歩道脇（札幌時計台ビル北側）です。ぜひ立ち寄ってみてください。

その碑を眺めながら、今更のように札幌農学校が都心部にあり、演武場（現時計台）が中核をなしていたのだなあと実感しました。建設されたのは明治十一年（一八七八）のことですが、北一ノ二条西二丁目の北側の一角に位置していました。ところが、明治三十九年に北二条通りが造られたため、約百メートル南の現在地（北一西二南側）に移されたわけです。「札幌農学校演武場跡」と刻まれた碑が北二条西二丁目の北側歩道に設置されたのは、偶然にも時計台移転論があつた昭和三十七年（一九六二）の十一月四日のことでした。高さほぼ四十センチ、幅五十センチ、奥行き三十センチという小さな白御影石ですが、市内の石材業者一人の善意で製作されたとのこと。左側面に「札幌農学校第十九期卒業生 昭和三十七年初秋」とあり、碑面の文字を揮毫したのはそのうちの一人、星野勇三でした。昭和四十七年には、冬のあいだ雪の下に隠れてしまつため碑の近くに建つていたヤナセ札幌の好意でショールーム内に移されています。室内のため通りすがりには見落としがちでしたが、ぼくなどは今は札幌市民ホールの前庭にある「豊平館跡」

碑とともに慣れ親しんでいたものでした。しかしその後、建物の売却などで碑は転々としてしまい、長いこと気がかりだっただけに今回の復元を心からよろこんでいます。

ところで、星野勇三についてです。明治三十二年ごろの札幌を舞台に農学校生の青春群像を描いた有島武郎の名作「星座」の中に「演武場の鐘の音は美しい」「心の底に沁みとるような響きを持っていた」と描写されています。星野もまたこの鐘の下で有島と青春を共有していたことになります。同期生にはほかに納豆博士の半沢洵や森本厚吉や蠣崎知次郎といった人たちがあり、森広はやはり有島の「或る女」の主要なモデルになっています。

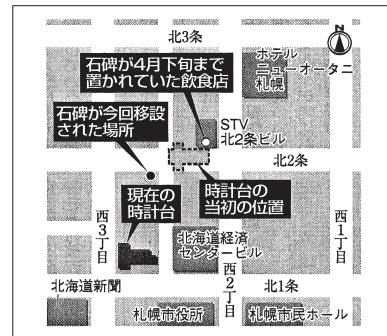
星野はリンゴ栽培指導の労働者であり、母校の北大農学部長を退官したあと八紘学院（豊平区の現八紘学院）院長として大きな功績を残した人物でした。



カット絵は、関堂圭子さんの四季の時計台絵ハガキから



碑の裏の記名



5月12日 道新朝刊より抜粋

冒頭の会長の挨拶で紹介されたように、札幌農学校演武場跡碑が平成二十二年五月写真に見られる形で移設・設置されました。前号でも紹介いたしましたが、半世紀にわたる長い流転の旅を終え、跡碑もようやく安住の地に落ち着いたわけです。

当初はすみれホテル前の歩道脇に設置する計画で進められておりましたが、ロードヒーティングや街路樹等のかかわりで今の場所に変更されました。

## 札幌農学校演武場記念碑 跡地そばに“安住の地” 設置半世紀 六カ所流転の末

### 第29回

# 時計台まつり記念行事

## 演奏会等

①六月二十五日(金)

現代音楽と仮面劇の夕べ  
実験演劇集団「風蝕異人街」

②七月二十七日(火)

ヴィオラアンサンブルの夕べ  
ヴィオラアンサンブルクロスオーバー

③八月二十五日(水)

ショパン＆シューマン生誕二百年を祝って  
生誕を祝うコンサート実行委員会

④九月二十四日(金)

さっぽろジャズクラリネットナイト  
アマチュアバンドコミュニティさっぽろ

・十月九日(土)

裏千家淡交会青年部による呈茶

・十月十日(日)～十六日(土)

児童絵画展・市民文芸作品コンクール  
優秀作品展示

・十月十六日(土)

時計台創建百三十二周年記念式典

児童絵画展・市民文芸作品コンクール

優秀者表彰式

⑤明治みゆきチェンバロソロコンサート

札幌市時計台をより市民に親しんでもらい、更には行事を通して札幌市への郷土愛、市民意識の向上を図るとする本行事の目的を充分に果たすことが出来たものと考える。



現代音楽と仮面劇の夕べ



さっぽろジャズクラリネットナイト



# 市民文芸作品 コンクール

## 短歌

時計台出づれば眩しワントッチの  
花柄日傘かざし娘とゆく 渡邊みよ子

市民の方々から各部門に百六十三点の応募があ  
りました。  
各部門の優秀作品を紹介いたします。

## 詩

### 鐘の音

森末 純

雨あがり 夏の暑さを涼ませて  
公園のベンチに 登休み  
お弁当を広げて 人々は集う  
テレビ塔の時間を見ながら

ひとときの安らぎを

おしゃべりと共に過ごす

時計台の鐘が 登休みの終りを告げる  
早足で 仕事に向かう 青春のひとこま

観光客で あふれかえる時計台

向う人に道を聞かれ 答えることが出来る  
すっかり 札幌人として

いつのまにかなじんでいる自分に気づく

木陰で ひと休みをして  
とうきびや じやがいもを食べる人を

眺めながら 鳩が 羽ばたく様子は

幸せ そのもの

ひとり ひとりの

人生は 辛いものかもしれない

それでも 笑顔の人が あふれ

鐘の音を聞く この瞬間は

心は空のように さわやかになる

## 短歌の部門

足立 敏彦先生(「新堀」主宰)

「原始林」選者の坂田資宏氏と二人で審査させ  
てもらっているが、まことに心の和む感銘歌が多  
くて、いつも入賞作を決めるのに難儀をする。

時計台は 道都札幌の観光スポットというより、  
そこでの出会い、思い出、遠き日をのぶなど、それ  
はもう消えることのない、かけがえのないそれぞれの心  
象風景として、感動的に読み取られていると言えよう。

## 俳句

軒氷柱墨痕太き 「演武場」  
吾を追ひこすリラ香る風 八木原いく子

リラの風時計台より恋生する

田森つとむ  
谷川 房子

## 俳句の部門

### 田森つとむ作品について

林 佑子先生(「冰原帶」主宰)

札幌の四季へとけこむ鐘の音  
札幌の四季へとけこむ鐘の音

木村 規子  
阿部 桜子

演武場といふ掲げられた扁額に、今こうこうと  
氷柱あかりが射している。この独特な雰囲気が伝  
わり、その心は限りなく静謐である。そして、こ  
の写実的風詠の背後に、静かな哀感も感じられる。

### 谷川房子作品について

谷口亜岐夫先生(「俳人協会北海道支部」副支部長)

厳しい風雪に耐えてきた時計台、その打ち鳴らす  
鐘の音は、いかにも牧歌的で情趣に富んでいる。四  
季折々に全国から訪れる多くの若者達の中から、恋  
のカップルが生まれることは想像するだけでも微笑  
まい。人間贊歌の時計台でありたいもの。

## 川柳の部門

浪越 靖政先生(「北海道川柳連盟」事務局長)

岡崎 守委員と協議して選出をした。優秀作品

「札幌の四季へとけこむ時計台」は中七が効果的  
で、四季の移ろいの中で市民と一体になった時計  
台の姿が浮かび上がる。「寄りそえは恋の鐘なる  
時計台」は多く詠まれているテーマだが、一味違  
う表現でロマンチックな一句に仕立てた。佳作四  
句もそれぞれ独自の視点と表現が光っていた。

## 平成22年度 会の主な活動

- 3月16日 時計台まつり記念行事の出演団体決定・連絡  
 4月13日 時計台まつり実行委員の委嘱依頼  
 24日 会計監査  
 27日 「広報さっぽろ」6月号原稿依頼  
 27日 時計台まつり実行委員会  
 5月1日 総会・理事会開催案内  
 12日 第1回理事会(総会議案審議)  
 13日 北海道新聞社へ時計台まつり記念演奏会の広報依頼  
 18日 札幌市へ記念行事負担金交付申請  
 道新、梅津奨学院、北電へ、その後順次申請  
 札幌市、NHK等へ名義後援、協賛、特別賞出賞の依頼  
 小学校長会等関係各所へ後援申請  
 18日 従業員雇用保険再申請  
 22日 通常総会(活動・決算報告、活動計画・予算審議)  
 25日 「広報さっぽろ」7月号原稿依頼  
 26日 会員への総会報告・会費納入案内  
 6月4日 道新社告に記念行事年間計画掲載  
 8日 演奏会プログラム印刷発注  
 12日 消防署へ催物開催届提出  
 15日 法人登記(法務局)  
 18日 労働保険申請  
 25日 第1回時計台まつり記念演奏会  
 現代音楽と仮面劇の夕べ  
 29日 法人登記(北海道庁)  
 7月1日 児童絵画作品募集案内依頼  
 7日 児童絵画展、文芸作品コンクールの審査委員委嘱依頼  
 8日 区役所、区民センター他へ文芸作品募集のチラシ配布、掲示依頼  
 19日 道新社告 児童絵画、文芸作品募集記事掲載  
 26日 第2回時計台まつり記念  
 ヴィオラアンサンブルの夕べ  
 8月1日 市民文芸作品コンクール作品受付開始  
 25日 第3回時計台まつり記念  
 ショパン＆ショーマン生誕200年を祝って  
 27日 文芸作品審査依頼  
 9月1日 児童絵画展作品受付開始  
 15日 児童絵画作品審査会  
 24日 道新に市民文芸作品コンクール入賞者発表  
 26日 第4回時計台まつり記念演奏会  
 さっぽろジャズクラリネットナイト  
 10月8日 道新に児童絵画展入賞者発表  
 10～16日 児童絵画・市民文芸優秀作品展示  
 16日 時計台創建132周年記念式典・優秀者表彰式・記念演奏会 チェンバロソロコンサート  
 26日 後援・協賛事業終了報告とお礼  
 11月6日 時計台まつり記念行事会事会監査  
 10日 第2回時計台まつり実行委員会  
 第2回理事会  
 26日 次年度時計台ホール使用申請  
 12月1日 時計台まつり記念行事出演者の公募  
 「広報さっぽろ」に掲載  
 14日 同「道新」に掲載  
 2月1日 会報75号発行予定  
 2月下旬 第3回理事会予定  
 3月上旬 新年度時計台まつり記念行事出演者決定予定

## 事務局だより

- ・ 浅沼さんは現在民放FMのパーソナリティとして活躍中ですが、若いころから音楽活動を展開し、作品「時計台のある街」はラジオパーソナリティの喜瀬浩さんがリリースしてきました時計台記念品販売事業だが、時計台に熱き想いを寄せるお話を共鳴し、寄稿を依頼した。
- ・ 平成十六年以降順調に売上を伸ばしてきましたが、三年目に入つて平成二十年九月のリーマンショック以降の経済不況で大幅な減収をよぎなくされてきたが、三年目に入つても残念ながら「厳しいです」と毎度なじみのセリフしか出ない状況です。

## 時計台のある街



### シンガーソングライター 浅沼 修

この場所にあることの美しさ  
 西の空にかすかな黄昏れを残して、駅前通りにイルミネーションが灯る頃、おひただしいヘッドライトが運なつて、街は夜の渋滞が始まる。

ここは札幌のド真ん中。国道十二号線が東西に横切るビルの谷間。その片隅にこじんまりと林につつまれて、宵闇に浮ぶ白い時計台は美しい。その併に足を止める人々が皆一樣に旅行者とは限らない。暮しの中で何気なく視界に入る時計台の風景は、折々の季節を織り込んで人々の心象に映されてゆく。

誰も想像することが出来ない。開拓に情熱をかたむけた明治の人々が、ここに町を拓いたのはそれ程遠い昔ではない。わずか百数十年前の事だ。騒音が乱反射してビル風が吹き抜けるこの谷間は、素朴な測量器と人々のかけがえのない労働で通した開拓の道なのだ。

その頃日本の多くの都市で、人々は町の中央に機械じかけの時計を据えて世界の時間を共有した。各地で次々と、そしてそのまま昭和の世界戦争へと続いていった。その昭和は、あまりにも多くを失った。日本をさえていた明治の情熱だけを残して。しかしその情熱さえも、もしかして戦後の経済成長の果てに使い切ったのかも知れない。今、私達はどうかで道に迷つたのでは?

と思ってる。一体どこで?人々は見つからないもどかしさと、前に進めない苛立ちの中で立ち止っているかのようだ。

ーと夢想した時、ビルの谷間から聴こえてくる鐘の音が、何故かやさしくも哀しく響いてくる。

そんな思いをよせてほのぼのと明りに浮ぶ時計台を見ると、苛酷な開拓の時代に、夢見るような憧れを模した白い建物が、今の私達に何かしら語りかけてくるようだ。

街の風景が刻々と移り変り、世界は地球規模で変化している。時計台はいつもここにあって、同じ音で、同じ速度で時を刻んでいる。明治の澄んだ空に高らかに響いた鐘の音は、今、都市のノイズの中を哀愁をおびて流れてくる。

私達は、もう一度帰らなければならぬのだろうか。無垢な精神を取り戻すために。

時計台はそのことを知っているのかが廻り始めた。こうして、時計の針を刻むように日本の近代が動き出した。

札幌市時計台も、明治の青年達に気がかりのように日本が動き出した。

やがて明治は二つの戦争を体験した。そしてそのまま昭和の世界戦争へと続いていった。その昭和は、あまりにも多くを失った。日本をさえていた明治の情熱だけを残して。しかしその情熱さえも、もしかして戦後の経済成長の果てに使い切ったのかも知れない。今、私達はどうかで道に迷つたのでは?

と思ってる。一体どこで?人々は見つからないもどかしさと、前に進めない苛立ちの中で立ち止っているかのようだ。

ーと夢想した時、ビルの谷間から聴こえてくる鐘の音が、何故かやさしくも哀しく響いてくる。

そんな思いをよせてほのぼのと明りに浮ぶ時計台を見ると、苛酷な開拓の時代に、夢見るような憧れを模した白い建物が、今の私達に何かしら語りかけてくるようだ。